



# JEG ニュースレター 141号

www.jegschweiz.com

2014年2月27日発行

## 小さな証

ドイツの田舎で悶々とした毎日、救いを求めて辿り着いた修道院で出会った真実とは、。佐々木千恵子姉のお証しです。



## 特別セミナー

スイスJEG20周年記念特別セミナーに、米国より岡田大輔牧師をお招きし、聖書的教会形成について学びました。



## 聖書のお話を聴く会

仏ストラスブールで、ノンクリスチャンの学生を対象に年三回開かれてきたこの会は、この度19回を迎えます。



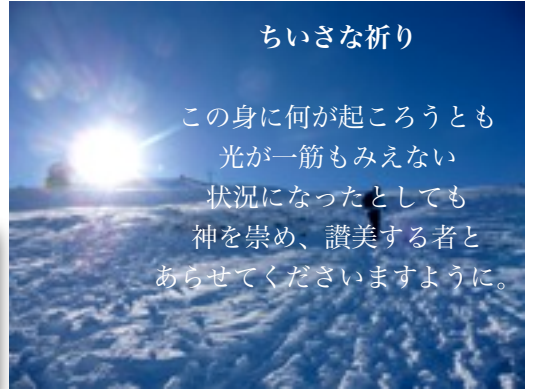
## 証と感想

7時間あまりの特別セミナーを受講して、参加者は何を学び、何を感じたのか？率直な思いが綴られました。



## ちいさな祈り

この身に何が起ころうとも  
光が一筋もみえない  
状況になったとしても  
神を崇め、讃美する者と  
あらせてくださいますように。



私の目を開いてください。私が、あなたのみおしえのうちにある奇しいことに目を留めるようにしてください。

詩篇 119:18



スイスJEG創立20周年記念事業として企画された記念特別セミナーが、2014年1月24日(金)～26(日)まで、現在米国加州のマスターズ神学校の博士課程で学ばれる岡田大輔牧師(日本聖書学院院長)をスピーカーにお迎えし、南ドイツ、Bad Liebenzell郊外で開催されました。

Bad Liebenzell-Maisenbach

## ちいさな証

## イエスさまは私の光です

クライナー佐々木千恵子

ドイツ パード・サウルガウ



トガルトにやって来ました。

私は南ドイツのサウルガウ市郊外在住で、ドイツ人の主人と24歳の一人息子と3人で暮らしています。兵庫県で生まれ、3歳からは東京で育ちました。母は関西、父は秋田出身ですので私の本籍は秋田にあります。舞踊やバレエ、オペラ、クラシック音楽などが好きです。水泳も好きです。日本の大学では陶芸を専攻し、1982年美術の勉強のため、ドイツのシュトゥットガルトにやって来ました。

その当時、シュタイナー関係のことに深く興味があったため、わざわざその中心地の一つであるシュトゥットガルトを選びました。精神世界に興味があり、ニューエイジ関係の本をたくさん読み、インド人のグルのところに尋ねて行ったこともありました。人に良く見られたいという思いから、変な風に思われていないかなどと、他人の目を気にしてクヨクヨ悩むこともよくありました。私は2002年に近所のカトリック教会で洗礼を受けましたが、そのきっかけとなった心の動きを皆様にお分かちさせていただきます。

シュトゥットガルトから小さな町サウルガウに引っ越してからは、とても落ち込みました。本当は力強く美術制作をするための場所を得るために、田舎に来たからでした。しかし、美術を制作する気力もアイデアもパワーも無くし、「私はいったいどうしてしまったのだろう、こんなはずではない！」と心は悶々とし、どうしていいのかわからない状態に陥りました。救いを求め、パワーストーン、アロマセラピーなども試してみました。そんな時、カトリック・ジーゼン修道院のシスターに出会い、一対一でお話しをする機会に恵まれました。

当時の私は、イエス・キリストは偉大な存在で、聖書も偉大な書物であること以上のことは、ほとんど何も知りませんでした。シスターの前では自分が何をしゃべっているのかわからないくらい毎回泣いて帰って来ました。そのシスターから「イエス様は私の光です」という文章を教えてくださいました。何とかしなくては、この私の心はおかしくなってしまうようで、藁にもすがる思いで、帰宅後さっそく薄暗い地下室の洗濯機の前で「イエス様は私の光です」と唱えはじめました。すると不思議なことに私の心の中にふーっと光りが灯るような感じがしました。気分が良くなってきたのです。自分で「あれっ？」と思いました。目には見えませんが、生きておられるイエスさまが触れて下さったのかもしれない。

「洗礼を受けたら、どうなるのかなー」と希望のような明るさを感じたのです。そして、洗礼を受けることにしましたが、十字架や復活の意味さえもよく分かっていませんでした。将来への希望も、その時点ではゼロでした。勿論、自分の罪については考えたこともありませんでした。



ザヤ書53章の聖句を教えてくださいました。この聖書箇所にはイエス様の十字架の苦しみについて書かれているので、5節と6節を読ませていただきます。「しかし、彼は、私たちのそむきの罪のために刺し通され、私たちの咎のために砕かれた。彼への懲らしめが私たちに平安をもたらし、彼の打ち傷によって、私たちはいやされた。私たちはみな、羊のようにさまよい、おのおの、自分かってな道に向かって行った。しかし、主は、私たちのすべての咎を彼に負わせた。」その文章中の「私たち」という部分を「千恵子」に置き換えてみることを教えてくださいました。この箇所はとてむたくしの心に触れました。いつもそのみ言葉を書いたメモをポケットに持ち歩き、涙を流しながら散歩道を歩きました。

時を同じくし、ゲルスタ先生の薦めにより、聖書を読む会のテキスト「基礎の学び」を使い、メアスブルク集会の原しのぶさんが導いて下さり、沢山の重要な聖書箇所に触れました。キリスト教の神髄を学ぶことができ、それは信仰の成長への助けとなりました。感謝です。ともかく日本語で聖書を学びたかったし、日本語でクリスチャンと神様のことをお話したかったので、夏の「ヨーロッパ・キリスト者の集い」にも参加しました。神様は「私の心の求め」に一步一步近づかれ、私を哀れまれ導いて下さいました。私は、少しずつ変えられていきました。祈れるようになり、祈りに応えてくださる神様を体験しています。今までは問題が起こると、ぐちぐち悩むだけでしたが、乗り越える方法も学びました。今は、まず祈ることが出来ます。そして神様に助けをもとめることが出来るようになりました。

こんなこともありました。ある大きな打撃を受け、人を赦すことが出来ず、暗闇の中で自分ではどうにもこうにも動きが取れず、苦しくて寂しくて大変な2年間を過ごしたことがありました。「神様!この苦しさは自分の力ではもうどうにもなりません。神様!あなただけが私を助けることがおできになります。どうぞ助けて下さい!」と、クリスチャンの方と一緒に祈っていただくことにより、やっとそのしがらみから解かれました。心が軽くなりました。心の「トゲ玉」が取れました。ハレルヤ感謝です!!しかし面白いことにその手放したはずの「過去の苦いトゲ玉」を自分で再び拾い上げ、つかんでいる自分にハッと気がつき「アッ、いけない!」と、パッと手から「トゲ玉」を捨てたことが2回ありました。

神様が祈りに応えて下さったときは本当に感謝です。神を知る前には到底知りえなかった喜びです。以前は小さなことで悩み、長い時間すっきりしないことが多かったのですが、イエスさまに祈ることで、その悩む時間が以前に比べるととても短くなりました。精神世界のことにはまっていた私が、イエス・キリストを信じるようになった事は奇跡です。それを助けて下さった聖霊様、そして多くの方々ありがとうございました。洗礼を受けて良かったです!と感謝しています。

洗礼を受けてから12年が経ちました。今はイエスさまを中心に神様に喜んでいただけるように生きていたいと思っています。神様がお与えになった私への能力を、神様のために使わせていただきたいのです。神様が喜ばれる主のご栄光を表す美術作品を作ることができれば本当にありがたいと思います。なぜなら、神様からはもうすでに「主にある希望」を、私のために与えられていることを知っているからです。





1、**スイスJEG創立20周年記念特別セミナー**には、米国から岡田大輔牧師（日本聖書学院院長）[www.japanbible.jp/](http://www.japanbible.jp/)を講師として迎え、スイスJEG外から7名のドイツ／オランダ在住の姉妹を含め、35名の兄弟姉妹が参加して、”**聖書の教会形成**”

をテーマに7時間を越える濃厚な聖書の学びの時を持ちました。創立20周年を迎え、新牧師を招聘し、救われたキリスト者として、福音をスイス／ドイツの同胞に宣べ伝えるため新たな一歩を踏み出したスイスJEGに相応しいテーマでした。

土曜日夜のセッションでは、「**日本・スイス・ドイツの教会歴史から、教会形成について学べるもの**」をテーマに、マイヤー・マルチン牧師が総括的にお話して下さいました。

なお、このセミナーのビデオ録画（一部静止画）は、全てスイスJEGのHPにアップロードされていますので、セミナーへの参加が叶わなかった方々にもお聴きいただけます。

<http://www.jegschweiz.com/礼拝メッセージ-audio-video/>

2、セミナー開催中の1月26日（日）、ウスターのスイスJEGにおいては、ゲルスタ・ウェンディ宣教師の企画で”**交わりの集い**”が開かれ、17名の参加者とともに貴重な交わりの時を持ちました。以下はウェンディ師のレポートです。

Most JEG members attended the 20th anniversary seminar in Bad Liebenzell at the end of January, but for those who were not able to go, an informal service was held in the Chrischona small hall. 17 adults and 3 children praised God accompanied just by a guitar.

After hearing the story of Bartimaeus, we acted it out together twice, with different people in the leading roles. All were involved, including the children, at least as disciples or as members of the crowd. Then, in small groups, we considered various questions on the Bible passage, ending in a time of prayer together. Everyone stayed on to the potluck supper and time of fellowship. We enjoyed the intimate and informal atmosphere very much.

3、**第21回・スイス日本語福音キリスト教会の総会**が、2月9日（日）13時から14時45分までクリシューナ教会の大ホールで開かれました。活動報告（スイスJEG2013年の歩み）決算報告、本年度の活動計画（PDFファイルとして添付）などが承認されました。2014年予算案は様々な事情が重なって編成作業を継続することになりました。また、教会運営の重責を負う新役員が選出され、その結果、原憲二兄（会長）、松林幸二郎兄（留任）に加え、新しくフォンプラント・コンラディン兄、トムセン・ハンス兄が加わりました。なお、昨年まで役員として御奉仕くださった脇山齊兄、今村泰典兄は個人的な事情により被選挙権を辞退されました。これまでの二人の兄弟の役員としての尊いお働きに心から感謝いたします。

4、3月22日（金）の17時から、仏・ストラスブール（7 Avenue de la Forêt-Noire, 67000 Strasbourg）において「**聖書のお話を聴く会**」が、「グループ意識と個人主義」をテーマにマイヤー・マルチン牧師を講師としてお迎えして開かれます。ストラスブールで学ぶ学生を対象に福音の種蒔きとしても用いられてきたこの会は7年目を迎えようとしています。お心当たりの邦人をご存知でしたら参加をお勧め下さるとともに、お祈りで支えて下されば幸いです。詳細は今村泰典兄

[yimamura1019@gmail.com](mailto:yimamura1019@gmail.com)

5、この秋（10月12日から19日まで）の**聖地旅行**の参加申し込みを2月末までしています。このスイスJEG創立20周年記念事業としての聖地旅行は、スイスJEGの修養会を兼ね、聖地にお詳しいマイヤー先生の案内でイエス様の足跡を辿り、生きた聖書の



世界を立体的に学びます。想像の世界でしかなかった聖書の世界を実際に体験することによって、聖書がより生き活きとしたものとなり、体験的に深く読める様になります。どうか又と無い貴重な機会を逃されませんように！なお、定員30名に満たなかった場合は、欧州の日本語教会からの参加も3月末まで受け付けます。（現地での合流も可能）申し込みならびにお問い合わせはフォン

プラント兄姉へ [workshopswiss@bluewin.ch](mailto:workshopswiss@bluewin.ch)

6、**第31回 ヨーロッパ・キリスト者の集い**は、7月31日（30日はプレ大会）から8月3日までベルギーで開かれます。この集いには、毎回欧州各地や日本から300名近いクリスチャンが集い、神の家族としての貴重な交わりのときを持ち、霊的成長に繋がるメッセージを聴きます。一人でも多くの方がこの素晴らしい集いに参加されますようお願いしております。こちら**2月28日までに**松林にお申し込み下さい。<[kojiromatsubayashi0@gmail.com](mailto:kojiromatsubayashi0@gmail.com)>

7、オーニンガー宣教師、クンツ・プリスキラ宣教師、ラシェンコ・ペラ宣教師からのRundbrief、工藤篤子メルマガ、井野葉由美メルマガ号、バルセロナ日本語で聖書を読む会月報、デュッセルドルフ日本語教会月報、ケルンボン教会月報、ルーマニア川井牧師の週報、イザール通信、オリーブ山便り（イスラエルよりの最新情報）、ウイーンの群れが届いています。お読みになりたい方は、松林までご一報下さい。



セミナー／マイヤー家／日曜礼拝でのスナップ



## スイスJEG創立20周年記念セミナー



## 感想と証

## 心身とも満たされました

T.M.姉より

Baden-Baden(独)

3日間の集中講義、さすがに疲れしました。でも主催者のスイス教会の方々は、数えきれないほどのいろんな種類の準備、及び参加者の受け入れ対応、そして、私のような個人的要望まで満たさなければならず、さぞ心身共に疲れになったことと思います。本当にお世話になり有難うございました。

今回のセミナーで、スイス教会は素晴らしいスピーカーと会場を準備して下さい、私は心身共に満たされました。特にスピーカーの岡田先生は、的確に私に欠けているキリスト者としての弱点、即ち、信仰に対する確信のなさを指摘して下さいました。そして正しい聖書観を持ち絶えず純粋で、その最終目的はすべて神に栄光を帰すことに意を留めるよう、再度促されました。



頭では解っていても毎日の生活で世俗的判断に影響されやすく、妥協し易い私には、このようなセミナーで絶えず自分の霊的さを吟味する必要があると、つくづく思いました。いつも反応の少ない私に、諦めもせずセミナーへのお誘いの声をかけて下さった今村泰典先生に心より感謝しています。

Bad Liebenzellに着いた最初の日、真っ白に覆われた山や家、道を見て随分寒いところに来たものだと思ってました

ら、Baden-Badenも今日午後から雪が降り出し、すっかり真っ白になってしまいました。今回は、スイスの皆様にもお会いでき嬉しかったです。どうか、健康に留意なさり、ますます主の御名の為に働き下さいますよう、お祈り致します。先ずはお礼まで。

## 見える教会、見えない教会

クライナー・佐々木千恵子

バード サウルガウ(独)

「教会とは」のお話しはエネルギーに系統立てて解りやすくお話し下さり心より感謝しています。



とくに教会には「見えない教会」=普遍的教会と「見える教会」=地域教会があり、真に救われているクリスチャンは地域教会に属していると同時に普遍的教会にも属しているとお話して、”なるほど！”と教会というものに対して、見方が一層はっきりしてきました。

もうひとつは、教会というのは、岩盤の上にイエス様という礎石を置き、使徒の教えを土台として整え置いてから、その上に、建材となる石（それは私たち信徒）を積み上げていくという絵画的なイメージで理解しやすく感謝でした。沢山のお話し本当に有難うございました。



## 揺るぎない信仰を

ヘス明美

スイス日本語福音キリスト教会

セミナーは朝・昼・晩とが組まれ、学んだ事は限りなくありましたが、初日のセミナー1で岡田牧師から語られた御言葉はテモテ第二の手紙3章。ここから教えられた事は、久々に目を覚ましなさいと言われていたようでした。そして私達の確信は「聖書はすべて、神の靈感によるもので、教えと戒めと矯正と義の訓練のために有益です(テモテII3:16)」です。

各講演を通して、私達は生まれながらにして罪人であるという事実、そしてイエス・キリストにのみ、罪の赦しがあり、救いがあると何度も教えていただきました。また最終日の礼拝でのメッセージでは、とにかく主を信頼しなさい！どんな時でも揺るぎのない信仰を持ちなさい、神だけを信じて、聖書に従って生きて行きなさいと力強く語られました。

セミナーの期間中、岡田牧師もマイヤー牧師も、睡眠時間を削ってでも、私達一人一人と祈りや交わりの時間を持って下さり、本当に感謝しております。

参加者全員に神様から、今、一人ずつ



に必要な御言葉が届いたと確信し、とても喜び溢れて帰途に着けました事も、大変嬉しかったです。私達がこ

れからも御言葉に堅く立って、歩いていく事が出来ますように、主に期待します。御言葉を取り次いでくださった岡田先生、マイヤー先生、そしてオーガイズをして下さったフォンブランタご夫妻、ホテルの方々のご奉仕にも大変感謝致します。



## 最善の時期に与えられ

川本真由美

スイス日本語福音キリスト教会

今回のセミナーは期待していた以上に素晴らしいものでした。スイスJEGの今後のあり方、また私個人の祈りに神様が的を得てお答えになられ、最善の時期にこのようなセミナーが与えられたことは、岡田先生、マイヤー先生、なによりも神様に感謝です。



これからこのようなセミナーをクリスチャンとしての成長のために企画していただ

けたらとても嬉しいです。また礼拝では未信者さんなどもいらっしゃるため、福音的なことを皆さんはお聞きになりたいと思いますので、セミナーを別に設けてもっと聖書を深く学ぶ機会があったらよいなあと思います。また、マイヤー先生からはヨーロッパの教会歴史について学び、スイスJEGと日本にある教会との関わり、違いを学べたことは感謝です。

岡田先生の神学的知識の豊富さ、人間の経験の豊富さ、クリスチャンとしての豊かさに触れてとても感動しました。長時間ではありましたが、居眠りをする余裕などなく1つでも聞き洩らさないように必死で、また楽しく学ぶことができました。

今回限りでなく、また岡田先生を迎えてセミナーなどをして頂きたく切に希望します。本当に充実した内容で私の信仰がいかに薄っぺらなものであったかを自覚し、万全な生涯を歩むために学べたことは本当に感謝です。

Haus Bethel はユダヤ人（イスラエル）のためにも働いていることを初めて知りました。このことを覚えてユダヤ人のためにも祈ります。

## 生き方の神髄を学ぶ

荒川詠子（うたこ）

アムステルダム日本語教会

今回、オランダから参加しましたが、遠くから来た甲斐が十分（以上）にありました！！その内容は想像以上に素晴らしかったです。

岡田先生の知識はさることながら、その愛と情熱には心を打たれました。教会形成もそうですが、クリスチャンの生き方の真髄を学ばされ深く自分自身を省みることができました。

このセミナーを一人でも多くのクリスチャンに見て聞いていただきたく思いませんが、松林さんのお陰でそのビデオを撮ることが実現したこと、兄のご尽力に感謝で一杯でございます。アムステルダムの教会でもこ

のスイスのセミナーのビデオと資料を用いて学びをいたします！



セミナーが終わってマイヤー家で

また、この機会にスイス教会やドイツ在住の兄弟姉妹の皆様と親しいお交わりが出来たこと、本当に感謝でうれしかったです。アムステルダム教会は現在大変な時を迎えています、私自身、みなさんとのお交わりを通して慰められ励まされました。

セミナー中には、数人の方々から“岡田大輔先生のセミナーを是非来年も！”との声も耳にしましたが、私自身も是非とも実現をお願いしたい気持ちです。その時には、オランダの兄弟姉妹達も誘ってセミナーに来たいです。

この度は、本当にありがとうございました！！



## 雲の柱、火の柱

トムセン千香子

スイス日本語福音キリスト教会

恵み深い主の御名を賛美します。今回のセミナーは、スイスJEGが20周年を迎えそして新しい牧師先生を迎え、新たな一歩を踏み出すにあたって、とてもふさわしいものでした。このすばらしい機会を与えて下さった主に感謝します。そしてはるばるアメリカからお越し頂いて3日間の講義と説教をして下さった岡田先生、細かい気配りに徹して下さいましたマイヤー先生御夫妻に心からお礼申し上げます。

私は、二日目からの参加でしたが、それでも盛りだくさんのお話に心が満たされました。岡田先生のテンポのいい、分かりやすいお話に、長時間のセミナーにも関わらず疲れや眠気を忘れるほどでした。

あのセミナー以来、雲の柱、火の柱の事が心に残っています。今日は私の頭の上には雲の柱が、または火の柱がたっているかなあと見上げたくになります。

そして、いつの日か花婿のイエス様が迎えに来て下さる日には、美貌に磨きをかけるのはちょっと無理ですが、信仰に磨きをかけて聖い自分になりたいなと思います。だから、イエス様、今来て

いただいたら困ります。もう少し、しばらく時間をください。罪を犯してもイエス様というクレジットカードを乱用している自



分に反省しています。

ほかに、クリスチャンは一人では、生きてゆくのではなく、お互いに支え合い、助け合い、尊敬し合って生きてゆかねばならないというお話も心に残っています。

スイスJEGの皆様のお一人お一人が強い部分弱い部分を持っていると思います。それを補い合い、理解し合い、赦し合っていたら素晴らしいなと思いました。それぞれ教会の上に雲の柱、火の柱が立つでしょう。

まだまだ印象に残ったお話は沢山ありますが、セミナーの最後に、岡田先生が、究極的に行き着くところは聖書の言葉そのものだと、聖書を指し示されたことは私への最後のパンチでした。どんな時にも御言葉に戻る事、御言葉に親しむ事と何度も聞いて頭では分かっているのですが、人の言葉に心が揺らいだり、自分の考えに凝り固まりがちな私には耳が痛い、でも心に留めておくべき言葉でした。

マイヤー先生が2日目の夜に話して下さった、教会の歴史も大変興味深いものでした。ヨーロッパの宗派の関係や違いなども、目から鱗のお話でした。同じドイツでもカントンによって牧師の呼称の事なども細かに変わるということも、初

耳でした。ヨーロッパは、呼称、敬称が、重んじられる風土なのだと改めて思わされました。日本への宣教の話も面白かったです。

最後になりましたが、コニーさん、美和子さんの大きなお働きに心から感謝申し上げます。出来ましたら、また再び岡田先生を招いていただけたらと、心から願っています。

## 20年ぶりの再会

フォンプラント美和子&コニー  
スイス日本語福音キリスト教会

20年振りに岡田大輔牧師に再会できまして本当に嬉しかったです。またセミナーを通して聖書を学ぶ事ができましたこととても感謝し、聖書を継続して勉強していく大切さを再認識いたしました。マイヤー先生のセッションもとても興味深く勉強になりました。ありがとうございました。また近い将来にセミナーをして頂きたいと願っています。久

しぶりに思い出のアルバムを開いて見ました。

It was probably the most joyful and inspiring moment in my church life to meet Daisuke after 20 years and see him as a man who seeks to teach the word of God truthfully on every occasion. May God have great plans for him and for our church.



アメリカ大学時代に日本人学生が日本を紹介した時の写真。(左上:美和子は折り紙紹介、右上:大輔さんとコニー) 下の写真は卒業式

## みことばの力と主の民の本質

岡田大輔

「わたしはこの岩の上にわたしの教会を建てます。」

マタイ16:18

私たちの主が語ったこの言葉は、教会が主のものであることを教えます。そして教会は主のものであるがゆえに、主の教えに沿って教会を形成し、その働きを全うしなければなりません。しかし、残念ながら現代の多くの教会はこの大切な真理を忘れ、独自の知恵と力で教会を建てようとしています。「新しい時代にふさわしい新しいプログラムが必要だ」と訴える人々が多くいる中で、「聖書の教えで十分です」と宣言するのは時代の流れに逆行することだと言われるかもしれません。しかし、聖書は教会が主のものであり、どうやって教会を建て上げるべきかを明確に教えてくれているのです。

今回のセミナーを通して皆さんに何よりも伝えたかったことは、聖書の教えに沿って教会を形成することの大切さでした。限られた時間の中で語ることができたのはあまり深い内容のものでなかったかもしれませんが、それでもキリストを礎石とし、使徒と預言者との土台の上に、私たちは教会を建てなければならないことを伝えることができたことを確信し、主に感謝しています。ヨーロッパであっても、日本であっても、世界のどこにあっても、クリスチャンが常に努めていなければならないこ

とは、主の教えに忠実に従って歩み続けることです。歴史あるスイス日本語福音教会が聖書に記されている神の設計図に沿って教会を建て上げ、ますます神様のすばらしさをスイスにおいて、ヨーロッパにおいて、また全世界にあって現し続けることを祈っています。

今回のスイス・ドイツでの働きは、私にとってもとても大きな祝福の時でした。聖書の力と主の民の本質を今一度確認し、皆さんとの交わりにおいてもとても喜びにあふれるものでした。皆さんが学びの時間も、またその後も、食事の時間や夜遅くまで熱心に質問をし、みことばの教えを聞こうとする姿にとっても励まされました。また皆さんとこのような時間を持つことができると願っています。主が皆さんをますます用いてくださるよう、祈り続けています。



セミナーを終えて記念写真